

宇都宮市は、カトリック松が峰教会など大谷石をテーマにした文化財の日本遺産認定を目指す。21日午後6時5分、宇都宮市松が峰1丁目



# 大谷石文化財を日本遺産申請へ

## 教会、磨崖仏、奇岩群… 宇都宮市、17年度内に構想

宇都宮市の佐藤栄一市長は21日の定例記者会見で、大谷石関連の文化財について、日本遺産の認定を目指すことを明らかにした。2017年度中に策定する「歴史文化基本構想」の中で、大谷石をテーマにした文化財を分かりやすく表現するストーリーをまとめて、同年度内の日本遺産への申請に取り組んでいく。(小林亨)

地域の有形、無形の文化財を観光資源として活用する「日本遺産」は、文化庁が本年度に創設。東京五輪が開かれる20年までに100件の認定を目指す。現在18件が選ばれている。県内では足利市の史跡足利学校が認定されている。

歴史文化基本構想は、市内の文化財を的確に把握し、その周辺を含めた保存活用をしていくための構想で、文化財保護行政を進めるための基本的な指針になる。16年度から文化財把握のための調査を始め、17年度中に全体構想を固める。

市内には、大谷石を使用した国の登録有形文化財のカトリック松が峰教会をはじめ、国指定重要文化財の旧篠原家住宅、大谷地区内の大谷磨崖仏、大谷奇岩群などの貴重な大谷石関連の文化財が数多く点在する。

度中の日本遺産申請を目指す。

佐藤市長は会見で「歴史文化基本構想を通じて、大谷石をテーマにした文化遺産を分かりやすく表現するストーリーを描き、日本遺産に登録したい。宇都宮の魅力を国内外に発信し、ブランド力向上の面からも認定を目指して取り組んでいきたい」と話した。

ちのますぶち J 621

発行所 宇都宮市下野区千32里 電話 0128-22-0101 郵便番号 350-0101

那須 須原 那須塩原 大田原 那須烏山 日光 中宮祠 宇都宮 鹿沼 岡